

= * == * == * == * == * == * == * == * == * == *

トラック 0

= * == * == * == * == * == * == * == * == * == *

弊社、因習村ツーリズムのサービスをご利用頂き

誠に、ありがとうございます。

当バスは直に目的地へと到着しますが、その前に

此度のツアーについて

最後の意思確認を始めさせて頂きたく存じます。

これより向かうは雪山の奥深く。

恐ろしき妖怪

アカナメが住まう山の中にあるとされる、女人の里。

村に住まう女性達は皆美しく、更に

来訪した男性に対し、穢れを清めるべく奉仕する因習がございます。

とっても心地良き、即尺の口淫。フェラチオ♡

また、此度のツアーは民泊。

赤萱村は年中豪雪の地域、観光地を巡り歩く楽しみはございませんが

口淫の風習を楽しまれるのであれば、

屋内の方が、色々と都合のよろしいことをございましょう。

ふふ、お客様♪

赤嘗村の女性は皆舌が長い、天性の舐め好き女♡

決してお客様を退屈させることはございません。

殿方として生まれた喜びを、この上なく感じられ

ご満足いただけることと存じます♪

ですが……やはり良くお考えの上で、どうか、お決めください。

弊社は、お客様を目的地までお連れこそしますが

現地で起こる事象に対し、一切の責任を負いかねます。

因習村へ赴くことを、決して軽んじることの、無きように

お客様、最後にお応えください

赤嘗村に向かう、その意思に変更はございませんか？

無いのですね。では、これ以上は何も言いません。

では、どうぞ心ゆくまで、赤嘗村の民泊で良いひと時を

= * = * = * = * = * = * = * = * = * = *

トラック 1

= * = * = * = * = * = * = * = * = * = *

お客様、でしょうか？

ああ、いけませんッ

こんな吹雪く外にいては……早く、こちらにッ

ふう、はああ……お客様

その、東京の旅行会社の方からは、お話は伺っております。

民泊のご利用客が来ると、伺っておりました。

私は……この家で、民泊を経営しています

赤嘗楓子と、申します。

あ、えっと……ようこそ、お越しくできました。

す、すみません……お召し物を、お預かりませんと

見苦しい様を見せてしまい、申し訳ございません

その……夫を亡くしてから、ずっと一人でしたから

人と、男のひとと……こうして話すことが、久しぶりで、緊張して……ッ

ここは、人もあまり来ない山奥の村

その上、この吹雪ですから、村の人同士でも中々会話をしないのです。

はい、ずっとです。ここは、ずっと吹雪く土地なのです。

お客様、改めまして……ようこそ、赤嘗村へ

それでは、えっと、そう……チェックインですよ。

でも、その前に

村に入られたお客様には、この土地の決まり事で

えっと、その……受けて頂かなければならない

禊が、ございます。

どうか、驚かないでください。痛いことではございません。

この村の女性は皆、外から帰ってきた男性には

穢れ舐めを

つまりは即尺

フェラチオをするのが、当たり前風習、なのでございます。

= * = * = * = * = * = * = * = * = * =

トラック 2

= * = * = * = * = * = * = * = * = * =

ああ♡……お客様、これはまた……素晴らしいものをお持ちなのですね。

はい、素晴らしいです♪

とっても素晴らしい、仮性包茎のおチンポ様でございます♡

こんな、素晴らしいのを、見てしまったら♡

疼いて、しまいますッ……でも、今はダメ……我慢、しないとッ

今は、褌が優先ッ……舐めないと、チンカス様を♡♡

はぁ、はぁぁ、お客様、即尺を始めさせていただきます♡

勿論、このまま……口で皮を剥いて、垢を舐めて、飲みます♡

この口は、便所の紙も同然。粗末に使って当たり前♡♡

汚れたおチンポ様を綺麗にすることが本望ッ♡

狂ってなんておりませんとも♪

この地に生まれた女には、それが至上の喜びなのです♡

ん、ちゅ……ああ、ん……ちゅ……くちゅ、ちゅ♡

お客様♡……ん、ちゅ……あ……ん……くちゅ、ちゅ……ぷ、くちゅ♡

んああ、はぁぁ♡……ん、んう♡

唇に、微かについた……おチンポ様の液、汚れ♡

あ、んう……ああ、はああ、ああ、んうううッ♡……ああ、はああ♡

たまりません♡……素晴らしい、とても良い穢れです♡

んう……あう、れるれう……んう……んあ、ああ、んう♡

んちゅ、くちゅくちゅ……るれえ♡

ぬめりを、唾液のぬめりで……柔らかく、して♡

皮を、痛くないようにしてから

ん……ちゅ……ああ、剥いて差し上げるのが、作法です♡

どうでしょう？……慣れて、いるでしょう？

ふふ、亡くなった旦那にも……たくさん、舐めて差し上げましたから♡

わたし本当に、得意で……それに、大好きなのです。フェラチオが♡

まあ、まあまああッ♡……すばらしい、おチンポ様♡

穢れが、びっしりと……ああ、あああッ♡……いけませんいけません♪

こんなにも、素晴らしい垢が♡……これでは、ああ、んう♡

ん、んっく……っく……ああ、よだれが、溢れて♡

ああ、ん、っく……っば、はああ♡

すみま、せん……私、チンカスが、好き過ぎて……つい♡♡

ああ、はああ……んう……取り乱して、すみません♡

お話を、戻します♡……この素晴らしい、おチンポ様の垢について
このままではいけないと言うのは、つまるところ

良くないもの、怪異を寄せ付けてしまうからに、ございます。

東京の方から、お話を伺っているかもしれませんが

ここ、赤嘗村は……恐れながらも奉っております。

アカナメという、人の垢を舐める怪異を……

アカナメは……女の怪異と村の言い伝えには残っています。

山姥の類

そう思っただければ、わかりやすいかと。

アカナメは匂いに敏感

垢を嗅ぎつけ、幾つもの山を越え、垢を舐めに村へ入ってしまう。

ですから……女性は皆、外から帰ってきた殿方には、こうして

ちゅ……くちゅ、ちゅ……んちゅ、んちゅ、ちゅっぷ♡

即尺を、して……ちゅ……ちゅ、ちゅ、ちゅっぱ♡

おチンポ様の穢れを、清める必要が……あるのですッ♡

ですから、お客様……ああ、はああ♡……んんう♡

アカナメを、村に呼ばないためにッ

どうか、おチンカス様をッ……私に、舐めさせてッ♡

この……ん……はああ♡……素晴らしいチンカスおチンポを♡
んう……すん、すん、すん……ああ、おお、おおおお～～ッ♡♡

ああ、はああ……っむ、れる、れるれう……んう、じゅるるう
ん、つく、つく……ぱ、はあ、はああ♡
おいしい、です～♡

チンカス濃くて、ひどい味♡……舌が、焼けてしまいそう♡
れるれる、れるれる、じゅるるるう、じゅるれるれるうッ♡
んう、んう……つく、じゅるるう……んう、っぱ、はああ♡

ああ、はああ……あっむ、じゅるじゅる、じゅぷじゅぷッ
じゅる、じゅるるッ……あっむ、んむ、んむむうッ♡
れるれる、れる、れるれえ、れるれ、るれるれえ♡……んう、んふ♪

美味しい、チンカス♡……ああ、っむ、つく、つく、つく♡
ああ、はああ、んああ、れる、じゅるるう、れるれう♡
ああ、くびれの所も……あ、んう……ああ、チンカス味、濃い♡

染みついて、んあ、あむ……じゅぶぶ、じゅるるうッ♡
なんて、汚い♡……これは、アカナメが黙ってま、せんッ♡

チンカス、ああ、はああ……美味しい♡大好き♡

ああ、久しぶりのチンカスチンポ♡

たまりません♡……お客様、お客さまぁ♡

チンカス、舐めて綺麗になりました♡

ああ、はああ……んう、ああ

精液も、どうぞ♡

我慢、なさらないでください♡

この地では、穢れは全て、女の口に放り捨てるもの♡

どうぞ、どうぞ出して♡

未亡人で、チンカス狂いの、はしたない雌に

なにとぞ、お恵みを♡♡

ああ、あああ、はあああ♡

あっむ、じゅる、じゅるるるうう、ジュぶるるうううッ♡♡

じゅっぷ、じゅぷじゅぷッ……じゅぶ、じゅびびいいッ～～ッ♡♡

んんッ！……つく、んう……んんう、んっぐ、んぷ、んお、んおおッ♡

んっぷ……んう、ん……んっく……んう……ごくごく、んっく♡

ふう、ふうう……んっく……ふう、ふうう～～♡……ああ、はああ♡

あっむ、んむむ……じゅる、じゅるるう、じゅっぷ♡

じゅるるう～……こく、こく、こくんッ♡

ん……っぱあ、はああ、はああ、んんう♡

お客、様ッ……ああ、いっぱい出して……くれましたね♡

私の様な、古臭い女に……素晴らしいお恵みを、たくさん♡♡

ああ、はああ……お与え下さったこと、誠に感謝申し上げます。

んう……ああ、おチンポ様も……もちろん、感謝しておりますよ♡

立派なお射精、ご苦労様でした。

ちゅ……ちゅ……ちゅ……ああ、んふふ♪……はい、これも作法です♪赤嘗村のおもてなし、どうぞご堪能くださいませ♡……ん、ちゅ♡

= * == * == * == * == * == * == * == * == * ==

トラック 3

= * == * == * == * == * == * == * == * == * ==

お客様、お料理の味は……ああ、全部召し上がられて

ふふ、嬉しいです。

人に、こんなにも料理をふるまったのは……久しぶりですから

私、あまり食べないものですので、喜んでもらえるかどうか不安で

ですから、ふふ、んふふ♪……良かった、安心しました。

さあさあ、食後のお酒もご用意しましたので、どうぞ……ご一献♪

甘く酸っぱい、果実をつけたお酒にございます。

お体も暖まりますので……さあさあ♪

んふふ♪……とっても良い、飲みっぷりでございます♪

ここは、とっても寒い村ですから。

囲炉裏や火鉢の熱だけでは、心許ないでしょう？

なにぶん、この家には電気もガスもございません。

昔ながらの屋敷ですので

締め切って、熱が逃げぬようにして、暖めてはおりますが

それでも、身が震えてしまいます。

なので、このお酒を飲んで頂ければ、お身体も暖かくなりましょう。
ですが……殿方には、少々……精を付けてしまう効果がございます。

ふふ、お勃起されていますね♡

ええ、構いません。恥じらわず、堂々となさってください。

勇ましいこと、なのです。お勃起される殿方は、とてもご立派です。

古めかしいかもしれませんが、この村では昔ながらの考えが強いので
女は、殿方にお仕えして、殿方に喜んでもらえることが幸せだと
迷いなく心から思っております。奉仕をしたくてたまらないのです♡

どうかお許しを、赤嘗村の女は卑しく淫らな女なのでございます♡♡

まあ、まあまあ♡

素晴らしいお勃起……それに、ん、すんすん……お、おお♡

おチンポ様♡……食事と、お酒の効果が、出ていますね♡

ふふ、驚かれるでしょう。

この地の食事は、代謝を活性化させてしまう滋養に満ちていて
つまり……体が熱く、汗をかき……包茎チンポの中には♡

んう、んう……すん、すんすん……んお、おお、おおおッ♡

おチンカス様が、増えてしまいます♡

ああ、はあああ……いけません、いけませんいけません♡

すぐに、舐めてしまいますね♡

アカナメを寄せ付けないように

楓子のお口で、今すぐに♡

れえる、れるれう……あつむ、んう……れうれう、れろ、れろお♡

んう……ああ、おいひ♡……チンカス、美味しすぎますう♡

あつむ、じゅるる、じゅるる、じゅるれるれう♡

んう、んふふ……熱いおチンポ様、チンカスが湧いているのですね♡

舐めても舐めても、またすぐに……あつむ、じゅるる、じゅぶぶぶ♡

んう……つく、つく……れるれる……れろれろれろお、れろろお♡

お客様……ちゅ……この地に住まう、アカナメとは

恐ろしい怪異、にございます♡

男を貪り、死ぬまでその垢を舐めとり続けるのです♡

垢とは、穢れ。穢れとは人の清らかな部分を除く、全て。

魂だけを綺麗に飲み干すために、アカナメは垢を舐め削ります♡

ん、れるれう……じゅるるう

舐めて、舐めて、舐め続けて……綺麗な魂を飲み干す。おわかりですか？

アカナメとは、人を食うも同然。恐ろしき話です。ですから、だからッ

ん、んう……ああ、はああ♡

清めなくては、なりません♡

アカナメを寄せ付けないように、女の液を塗りたいのです♡♡

んふ、んふふ♡……アカナメは、女人の姿をしています♡

男しか食べぬのは、それ故のこと。

ですから、赤喰村は殿方の身体を、女の液で清めるのです♡

唾液、汗、愛液……ぐちゃぐちゃに、まぐわいあってッ

お客様のお身体を、清めて差し上げなければなりません♡

お客様、夜伽にご興味はございませんか？

わたくしは、もうすでに……膣の奥まで濡れております。

準備は、万全なのです♡

全ては、アカナメを寄せ付けない為♡……お客様の身を守るため♡

ですからどうか……未亡人の熟れた身体を、存分に、お使いください♡

= * = * = * = * = * = * = * = * = * =

トラック 4

= * = * = * = * = * = * = * = * = * =

お客様……お客、様♡

楓子は、未亡人でございます♡

悪く言えば、年増の女。痩せた身体に、だらしのない肉付き♡

大きく垂れた、情けない乳房♡

秘部は、陰毛が濃く茂り、花卉がはみ出してしまった膣の入り口なんて

どう見ても、食欲をそそられない……古びたご膳でございます。

ですが、懸命にご奉仕して……お客様を満足させてみせます♡

わたくし、経験は豊富でございます故、どうかッ

はしたないこの未亡人に、お客様と交わることをお許してください♡

失礼、お口を清めますので……気に障ることでしょうから

ああ、ん……ん……ん……ばあ、はああ♡……ふふ、んふふ♪

薬膳と、梅の実を漬けたお酒……わたくしの好物です♡

ああ、あらあら、あらあらあら♡お客様♡

押し倒してくださるなんて、そのような嬉しいこと♡

はい、とてもうれしくございます♡

楓子は、とても幸せを感じているのです♡

女として、殿方に乱暴にされ、貪られる喜びを、心底に♡♡

ああ、るれえ、れえ♡

どう、れふか……いっぱい、溜まっているでしょう♡

んう……ああ、はああ……穢れを払う、女の、液♡

どうぞ、召し上がってください♡

アカナメを、寄せ付けぬために

どうぞ……お客様、口づけを交わしましょう♡……舌を、絡めあって♡

あっむ、じゅるる、じゅるれる、じゅるるッ♡

んう、んう、んううう♡……あっむ、んむ……じゅるれるれう♡

くちゅくちゅ、れるれるれる♡

ん、んう……っぱ……あっむ、んう……んんう♡

れるれる……るれえ、れるれえ♡

んう、んんう♡……っぱ、はああ♡

お客様あ♡……ああ、お客様あ♡

楓子は、着物がはだけております♡

股を開いています♡……どうぞ、好き勝手にお使いください♡

あつむ、じゅるる、じゅるれる♡……じゅるる、っぱ……ああむ♡

んう、んう♡……お客、様あ♡

ああ、んああ……あつむ、んう、んむむ♡

ください♡……おチンポ様を♡

わたくしの、未亡人のおマンコに♡……どうか、どうかどうかッ♡♡

んう、んんううッ♡……ああ、あああ♡

ん、ん……ああ、ああ♡

んう、ん、んう♡……あ、んう♡

お客様、お客さまああッ♡

ん、んう……ああ、ああ、はああ、はああ♡

チンポ様、素晴らしい、ですうッ♡

いい、とてもいいッ♡

素敵なおチンポ様♡……女を魅了し、孕ませたがりな最高おチンポ様♡

ん、んう……愛おしいです♡

惚れて、しまいますう♡……未亡人の、寂しい子宮がッ♡

お客様のお子種で、孕みたがって……疼いて、降りてしまいます♡♡

お子種を、出してください♡

責任など、お考えにならず……どうか、どうかどうかッ♡♡

ん、んううッ……く……ああ、はあああ♡

来た、お子種が……お客様のぉ、いっぱい♡♡

チンカスおチンポ様、いっぱい奥に擦り付けられて♡

濃いのが……奥に、押し込まれていますう♡

ああ、あああ♡……嬉しい、嬉しいです♡

赤嘗楓子、お客様に犯されることを、

真に喜ばしく思いますッ♡♡

んおおおッ……お、おお、おおッ♡♡

き、来たあ♡……また、来てくださいました♡♡

おお、おほおおおッ♡……お、強い♡

乱暴なの、うれしいですう♡……たまりま、せん♡

アクメ、アクメしますう♡

未亡人おまんこお、お客様に恋アクメ、してしまいますう♡♡

お客様あ♡

どうか、どうか……もっと、乱れてください♡

いっぱい……体を寄せ合ってッ

熱くなった肌を、粘つくまでこすり合わせましょう。

唾液と、汗と、愛液ッ

女の液で、全身を清めてさしあげます。

アカナメを寄せつけない、ようにッ

お客様を守るためにッ♡

いっぱい、交わりましょうッ♡♡

愛しております、お客様♡

いえ、今は……こう、呼ばせていただきます。

ああ、わたくしの……愛おいしい、旦那様あ♡♡

あっむ、じゅるッ……じゅるる、ぐちゅぐちゅッ

ああむッ……んむ、れるれる、あっむ、んむッ♡

んああ、はあ♡

あっむ、れるれるれる、じゅるる、じゅるッ♡

じゅるれるれう、ぐちゅぐちゅ、ぐちゅぐちゅ……ん、んう♡

んああ、はああ……愛しております、旦那様あ♡

あっむ、ぬちゅぐちゅ、ぬちゅぐちゅッ……ぐちゅッ

じゅるる、じゅるれるれるッ♡

んう、んむむ……っぱあ、はああ♡……お慕いしておりますッ♡

旦那様あ♡楓子は、旦那様に、身も心も捧げます♡

ですから、お客様の身も心も

楓子に、頂きたく存じます♡♡

ああ、ああッ

あああッ～……お、おおおッ♡おおおッ～♡♡

んう、んう……お、おおおッ……お、おお、おっほおおおッ～♡

おおおおおッ♡♡……おお、おおおおッ……ああ、あああああッ♡

んう、んう、んふううッ♡……ああ、はあ、はあ、はああ♡

ああ、あは……はひ……おお、おおおおッ♡

はああ、旦那様♡……お慕い、しております♡♡

= * = * = * = * = * = * = * = * = * =

トラック 5

= * = * = * = * = * = * = * = * = * =

楓子は、貴方の妻は……まだまだ夜伽をしたりません♡

もっともっと交わりましょう♡

身も心も、楓子にお与えください♡

心地よい時を過ごすこと、それが旦那様の願い、なのでしょう？

あ、ん……あん、んう……ああ、はあ、はあ、はあ♡

んう……ああ、んふふ

んう……ああ、はああ

旦那様、楓子は……旦那様を愛しております♡

危害を、加えることは一切しません。ですから、どうかッ

どうか、真のことを、語らなかったわたくしを

どうか、どうか……お許してください♡

アカナメとはこの地に寝付いた怪異

恐ろしいものと、言い聞かせましたが

それは、嘘にございます。

アカナメは、人を襲いません。

襲ったのは、人の方なのです。

大昔、村人たちは食べるものに困り果てていました。

そんな折に、村人は垢を舐めとるだけの無害な妖怪と出会った。

そして、捕まえた。縛り上げた。

棒切れを、鎌を、包丁を、皆手にして

アカナメを殺し、その肉を食らいました。

それからです。村の女は、皆……変わり果ててしまいました。

人魚の肉を食らったものが不老不死になるように。

アカナメを食らった村人は、皆死なない体を手にし、

普通の食事が、出来なくなってしまった。

垢を舐めることでしか生きられない。

同じ時を共にできる夫もいない。

赤嘗村の女は、罪を犯した人まがい、アカナメまがいと成り果てた。

旦那様、怖がらないでください。

わたくしは、貴方の垢を……穢れを全て舐め尽くし

その上で、愛し合いたいだけにございます。ですから

苦しめたいなどと、怖いことは微塵も考えておりません。

痛みは、決して感じさせません。

私は、幸せになりたいだけなのです♡

それに、旦那様も、こうなることがお望みのはずッ

ずっと、心地のよい夢を見させてあげます♡

心地よく交わりながら、穢れを吐き出す快感におぼれてくださいませ♡

破滅するとわかって、ここに来られたのでしょうか？

心地の良い、人生の終わりをお求めなのでしょうか？

全て、わかっております♡

愛する夫の願いを叶えて差し上げます♡

外は寒いですが、ここはとても暖かいでしょう？

たとえ、貴方が私に舐め尽くされてしまっても

貴方は何も苦しみません、ずっと、心地よい夢のまま

肉体という穢れが、無くなってしまい

清き心が、私に飲み干されて……ずっと、満たされ続けるのです♡

ええ、言ったでしょう。穢れを全て舐めとったなら

アカナメは残る清らかな心を、一息に飲み干してしまうと♡♡

私の中で、一つになりましょう♡

怖くありません、幸せ以外何も感じることは無いのです。

ええ、本当です。嘘ではございません。

だって、誰も文句は言っていません。

これまで、飲み干した夫たちは皆

今も、私の臓腑の中で心地よい夢を見ています♡

甘やかされ、愛されて、赤子になって愛される夢を

永遠と見続けているのです♡

もう、十分舐めました。

手足があると、飲み込みづらいのです。

でも、これで十分

残った穢れは、中で溶かして差し上げます。

では、旦那様……辛い世界とは、さようならをしましょう♡

っちゅ……あ、ん……くちゅ……ちゅ♡

さあ、私の中にお入りなさい♡

一瞬です。痛みはございません♡

ああ、美味しい♡

旦那様の穢れが、溶けて、体に染み渡ります♡

ふふ、愛しておりますよ。旦那様♡

ふふ、ふふ、んふふ♪

六百と、四十と、三つ目になる、わたくしの旦那様♡

共にこの世界で生きていきましょう。

私はずっと、寄り添い続けます。決して、貴方と離れたりしません♡

暖かい夢の中で、永遠に幸せな夢を見させてさしあげます♡♡